

◇ 製 品 名 エンブレスマット

◎ カ ラ ー グリーン・グレー

◎ 重 量 約4.1kg/m²

◎ 材 質 パイル:BCFナイロン原着糸 カット&ループ (抗菌、吸水加工品)
バックング:塩化ビニール樹脂

◎ 防災試験登録番号 EO010306

◎ 圧 縮 試 験

	圧縮率	圧縮弾性率	厚さ減少率
カットパイル	57.1%	84.7%	8.8%
ループパイル	52.2%	89.7%	5.4%

JIS L-1021-6:2007

◎ 摩 擦 強 度 試 験

摩擦を伴った動的荷重による厚さ減少

標準状態厚さ	12.7mm
厚さ減少値	4.9mm
厚さ減少率	38.2%

荷重1kg 合成ゴムロール 10000回 JISL 1021-7:2007 5

摩耗強さ

重量減少量	636mg
-------	-------

荷重1kg 摩擦輪H-18 5000回 JIS L 1021-11:2007 7

◎ 帯 電 性

(-) 0.7KV

温室度条件:23±1℃、(25±2) % RH JIS L 1021-16:2007 6.

◎ 耐 光 堅 ろ う 度

測定値	4級以上
-----	------

照射時間:20時間 JIS L-0842:2004 11

◎ 洗 濯 堅 ろ う 度

変退色	5級
汚染(ナイロン)	5級

JIS L 0844:2011 7

◎ 摩 擦 堅 ろ う 度

乾燥	5級
湿潤	4～5級

JIS L 0849:2044

◎ 吸 水 性 試 験

	保水率(L/m ²)	吸水性	水分戻り
カットパイル	6.99	1～5秒	31%
ループパイル	6.99	5～10秒	31%

試験片100mm×100mmを水に1分間浸漬し、30分間自然落水した重量から保水量算出

試験片表面に0.5mlを5箇所滴下し水滴が消える迄の所要時間

水分を滴下した試験片に荷重をかけて、ろ紙の吸水重量から水分戻り値を算出

◎ 抗 菌 性 試 験

	標準布	フレコト品
接種菌濃度(菌/ml)	2.2×10 ⁵	
接種直後	4.61	4.54
18時間培養後	7.21	4.64
増殖値(F)	2.6	---
静菌活性値(S)	---	2.5

使用菌種:黄色ぶどう球菌
JIS L 1902 菌液吸収法、混釈平板培養法

上記の通り規格及び性能を有する事を証明します。但し、記載データは測定値であり、保証値ではありません。

◇ 製 品 名 エンプレス抗菌マット

◎ カ ラ ー グリーン・グレー

◎ 重 量 約4.1kg/m²

◎ 材 質 パイル:BCFナイロン原着糸 カット&ループ (抗菌、吸水加工品)
バックング:塩化ビニール樹脂 (抗菌剤配合)

◎ 防災試験登録番号 EO010306

◎ 圧 縮 試 験

	圧縮率	圧縮弾性率	厚さ減少率
カットパイル	57.1%	84.7%	8.8%
ループパイル	52.2%	89.7%	5.4%

JIS L-1021-6:2007

◎ 摩擦強度試験

摩擦を伴った動的荷重による厚さ減少

標準状態厚さ	12.7mm
厚さ減少値	4.9mm
厚さ減少率	38.2%

荷重1kg 合成ゴムロール 10000回 JISL 1021-7:2007 5

摩耗強さ

重量減少量	636mg
-------	-------

荷重1kg 摩擦輪H-18 5000回 JIS L 1021-11:2007 7

◎ 帯 電 性

(-) 0.7KV

温室度条件:23±1℃、(25±2) % RH JIS L 1021-16:2007 6.

◎ 耐 光 堅 ろ う 度

測定値	4級以上
-----	------

照射時間:20時間 JIS L-0842:2004 11

◎ 洗 濯 堅 ろ う 度

変退色	5級
汚染(ナイロン)	5級

JIS L 0844:2011 7

◎ 摩 擦 堅 ろ う 度

乾燥	5級
湿潤	4～5級

JIS L 0849:2044

◎ 吸 水 性 試 験

	保水率(L/m ²)	吸水性	水分戻り
カットパイル	6.99	1～5秒	31%
ループパイル	6.99	5～10秒	31%

試験片100mm×100mmを水に1分間浸漬し、30分間自然落水した重量から保水量算出

試験片表面に0.5mlを5箇所滴下し水滴が消える迄の所要時間

水分を滴下した試験片に荷重をかけて、ろ紙の吸水重量から水分戻り値を算出

◎ 抗 菌 性 試 験

	標準布	フレコト品	エンプレス抗菌
接種菌濃度(菌/ml)	2.2×10 ⁵		
接種直後	4.61	4.54	4.51
18時間培養後	7.21	4.64	3.21
増殖値(F)	2.6	---	---
静菌活性値(S)	---	2.5	3.9

使用菌種:黄色ぶどう球菌

JIS L 1902 菌液吸収法、混釈平板培養法

上記の通り規格及び性能を有する事を証明します。但し、記載データは測定値であり、保証値ではありません。